

マーケットの動き（2025年11月3日～11月7日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。米利下げ観測の後退や、5日に発表された米経済指標の結果を受け米国長期金利が上昇したことなどから、米ドル買いが進みました。しかし、6日に民間の米労働市場調査が雇用の減速を示したことなどから、米雇用市場の悪化懸念が強まり、円買い米ドル売りが優勢となりました。

ユーロは前週末比、対円で下落した一方、対米ドルでは上昇しました。

投資環境見通し（2025年11月）

円に対して米ドルは徐々に水準を切り下げ、ユーロは弱含み

米ドル：世界的な投資家のリスク選好の動きから、ドルは円に対して当面は底堅く推移するとみえています。しかし、日銀による利上げ姿勢に加えて、為替レートの動向と水準次第では日米通貨当局が警戒感を強める可能性もあり、その後のドルは円に対して徐々に水準を切り下げるとみえています。

ユーロ：域内各国の財政政策を背景に景気は緩やかに回復するとみえています。一方で金融政策については、ECB（欧州中央銀行）の様子見姿勢、日銀の利上げ姿勢を背景にユーロは円に対して弱含みで推移するとみえています。

	11月7日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	153.15	▲0.91	1.97	9.87	0.19
ユーロ/円	177.23	▲0.58	0.90	14.35	11.85

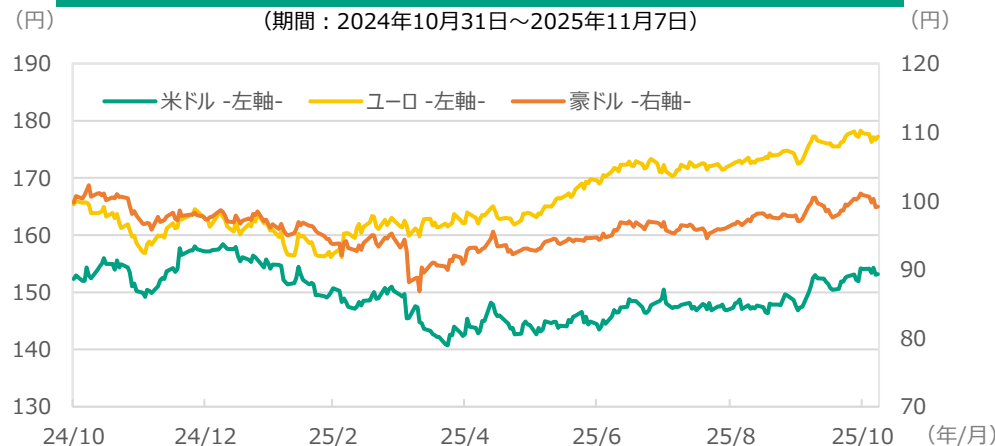
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202511_outlook.pdf

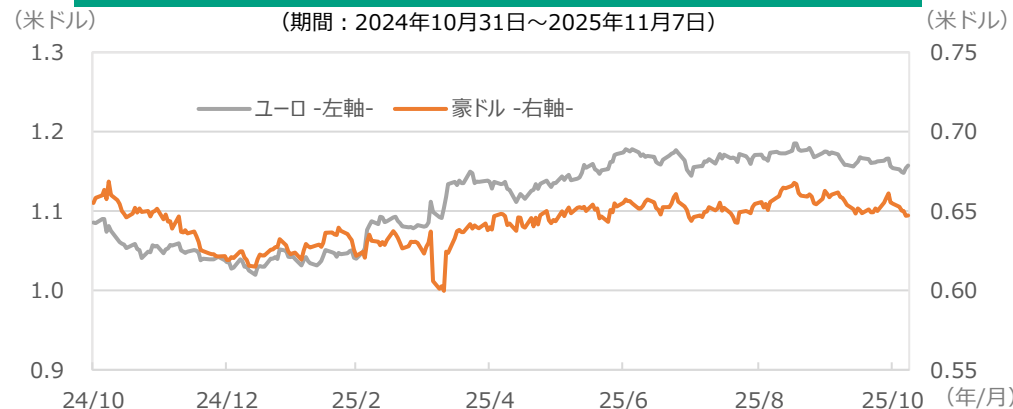
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年10月31日～2025年11月7日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年10月31日～2025年11月7日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>